

特集

教員のストレスケア

看護教員の職業的アイデンティティと職業性ストレス

福永ひとみ

ストレスをためないための“場”の重要性 筒井美紀

さまざまな形での教員のメンタルサポート 椋田容世

看護教員のメンタルが守れなければ、学生も患者も

守れない 宮子あずさ

アカデミック・ハラスメントの形成過程とその対策

湯川やよい

【特別記事】

看護教員のストレスケアに役立つ瞑想 大下大圓

【鼎談】自治体の看護学校協議会活動の充実に向けて

鳥井元純子・山田かおる・橋みゆき

【連載】

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・3 阿久津裕彦

キネステティック・クラシック・ネオ

動きの言語化のツールが可能にすること・3 中本里美

授業を良くする！ 教育関連理論・5 西野毅朗

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・9 種村剛

リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・12(最終回)

伊藤亜紗

すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・12(最終回) 佐藤紀子ほか

編集後記

●世界からディスプレイがなくなる可能性を包含した「Magic Leap」のクリエイター・エディションが、2018年に出荷開始されるとアナウンスされました。「Magic Leap」は、空中にディスプレイやホログラムを表示し、SF映画に登場するような、空間でのコンピューティングを可能にするもの。目の前につけるヘッドセットは大きいサングラス並で、従来のHMD(ヘッドマウントディスプレイ)よりかなり快適かつよく見えます。●ことほど左様にVR、ARの発展は驚くべき速さで進んでおり、医療や教育への応用も多くの場で始まっています。何よりデジタルで育った子どもたちの入学が増えるのも間近です。「今までのやり方」に固執せず、さまざまなチャンネルから情報を集め教育をアップデートするという姿勢を、読者の皆様にもっていただきたいと思います。

……大野

●本邦初(だと思います……)看護教育VRが作成され、こうして本誌で特集できて、とてもうれしいです。VRを用いた教育プログラムの魅力、感じていただけたでしょうか。山川先生が下河原さんと出会われた直後、もちろんそうとは知らずに特集の相談をさせていただき、あとはプロフェッショナルの皆様が、忙しいなか迅速な作業でここまで形にいただきました。その間、およそ6か月。月刊誌の担当からすると、6か月は「すいぶん前」ですが、これは看護教育でVRが活用された歴史とイコール、本当に始まったばかりです。●そもそも、教育は常に未来に向けられています。一方VRも、単に新しいだけでなく、認知症もふくめ「未来」や「自分ではない体験」を体感できるものです。看護教育とVR、相性はきっと抜群です、まずはご体験から、ぜひ楽しんでVRの、看護教育の未来を拓きましょう！

……番匠

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第59巻 第2号 2018年2月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体1,500円＋税
年間購読 好評受付中!
電子版もお選びいただけます。

Vol.59 No.1

2018年1月
特集

インストラクショナルデザインを 活かす

インストラクショナルデザインは、授業の設計図を描くのに効果的な方法です。教育の効果や効率を高めるためにさまざまなモデルを応用して、学習する環境を成立させるプロセスであるインストラクショナルデザインを用いれば、授業を良くする道のりがより見えやすくなります。

授業設計そのものは教員であれば誰しも行っていることですが、他の教育に関する取り組みと同様に、今までは指導者や先輩が行っていたことを真似る傾向から、なかなか脱することができなかったように思います。が、看護にエビデンスが求められるように、教育にもエビデンスが欠かせません。さまざまな手法やモデルを下敷きにしたインストラクショナルデザインは、その求めに応えられる1つの方策といえます。

本特集では、国内のインストラクショナルデザイン研究・開発の先端を走る熊本大学教授システム学研究センターの協力のもと、あらためてインストラクショナルデザインを一から紐解き、それを看護教育に活かすためのさまざまなアプローチを紹介し、授業設計の精度をより高める助けになれば幸いです。

■インストラクショナルデザインを概観する……………合田美子
コラム：インストラクショナルデザインの学び方……………鈴木文明

■「美しい」授業設計をめざして——インストラクショナルデザインのできる合理的な改善……………平岡齊士

■ARCS モデルを使って「その気にさせ、行動を引き起こし、継続を促す」保健指導……………都竹茂樹

■インストラクショナルデザインを看護教育に取り入れることで得られたこと……………豊場沢子／都竹茂樹

■専任教員の継続教育としての研修会——インストラクショナルデザインを用いた魅力ある授業づくり……………福岡公香／高口みさき／田口恵美子



Vol.58 No.12

2017年12月
特集

省察的実践者を育む ショーンからの提起とともに

確立された技術を学び、実践に応用する、という従来の「専門職」観を脱却し、自身の行為を、変化する状況のなかで振り返りながら実践していく、という新たな専門職の実践「省察的実践」を打ち立てた「省察的実践とは何か」(2007年)、そして2017年に翻訳が刊行された「省察的実践者の教育」は、世界の教育学・看護教育学の論文でも膨大な引用数を誇ります。著者であるショーンは、現在もっとも影響力をもっている学習理論家の1人だと言えるでしょう。

しかし同時に、ショーンほど誤解されている理論家もいないかもしれません。ショーンの著作に「正解」や「マニュアル」「わかりやすい定義」を求め、それを学んで応用しようという、多くなされているこの読まれ方こそ、まさにショーンが否定しようとした、古い専門職の姿勢に他ならないからです。ショーンを読むということは、語られた事例に自身の実践も照らし合わせながら、実践の意味、また実践の背景となった、思考のフレームを組み替えていくことを意味しています。そのような省察によってこそ、専門職としての学びが得られることが、ショーンの重要な提起だといえるでしょう。

今回の特集では、できる限り、ショーンの提起した問題意識を引き継ぐべく、ショーンの思考の流れを確認していくと同時に、複数で実践を語り合うことで照らし合わせられる省察の事例を掲載いたしました。皆さんの探究を誘うきっかけになれば幸いです。

■「省察的実践者の教育」を読み解く……………柳沢昌一

■看護教育におけるショーンの提起の重要性……………前川幸子

■ショーンの探究に誘われて——協働探究の試み

【事例1】学生がピンとくるイメージを伝えるわざを磨く……………岡本朋子／村田晶子

【事例2】ピアによるディスカッションにおいて、リフレクションを深めていくこと……………室井佳奈／村田晶子

【事例3】教員同士のリフレクションという実践：気づきの連鎖……………青野美里／前川幸子

【事例4】クロスセッションを組織することをおして得た専門職教員の学びの省察……………梶山委都子／入江直子／村田晶子



[2017年11月号(Vol.58 No.11)]

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること

[2017年8月号(Vol.58 No.8)]

「読む、書く、話す」で、
教育力の充実に

[2017年10月号(Vol.58 No.10)]

実践的思考力を育む

[2017年7月号(Vol.58 No.7)]

リフレクションから授業研究
(レッスン・スタディ)へ

[2017年9月号(Vol.58 No.9)]

学生とつくる授業
学生がつくる授業

[2017年6月号(Vol.58 No.6)]

実践知の学びを再考する
“わざ言語”

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015年12月号(Vol. 56, No.12)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2016年1月号(Vol. 57, No. 1)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。